

2020年4月からの 2学期クォーター制 導入について

2学期クォーター制とは？

入学、履修登録、単位認定、卒業等は従来の2学期制を維持しつつ、前期を第1・第2クォーター、後期を第3・第4クォーターに区分したクォーター制を導入し、従来の半分の8週(クォーター)で実施する授業形態を追加するものです。

学外学修(海外留学、地域留学、中長期インターンシップ、ボランティア活動など)の修学面の改善や、従来の半分の段階で成績評価(到達度の確認)、短期間で集中して学ぶことを可能にする目的で導入するものです。

なお、授業科目の分割開講や開設期等の変更があっても、導入前の在学生の卒業要件に変更はなく、時間割編成においても、卒業・修了に支障が無いよう、可能な限り配慮しています。

◆このパンフレットには導入時の主な点について掲載しております。

具体の授業時間、履修情報、卒業要件、その他修学上必要な情報は、学生便覧、履修手引、授業時間割等を確認してください。最新の情報は、本学ホームページ「学生センター」「授業/シラバス」を順次更新しますので、教育サポートシステム等の案内を確認してください。

変更になる事項

✓ 学年暦(授業期間)

学期(前期・後期)の半分の授業期間(クォーター)が追加されます。

導入前	4月		8月中旬		10月		2月中旬	
	前期		夏季休業		後期		冬季休業 後期 春季休業	
導入後	4月	6月上旬	8月中旬		10月	12月上旬	2月中旬	
	前期		夏季休業		後期		後期	
第1クォーター	第2クォーター	第3クォーター			第4クォーター	冬季休業	第4クォーター	春季休業

✓ クォーター制の授業形態

従来 of 前期・後期・年間に加え、次のような授業形態が追加されます。

クォーター開講科目の例(単位は講義科目)

- ① 週2回×8週: 1コマ90分の授業を週2回(火+木や水・金)×8週で完結→2単位
- ② 2コマ連続×8週: 1コマ90分の授業を2コマ連続(1~2限や3~4限)×8週で完結→2単位
- ③ 週1回×8週: 1コマ90分の授業を週1回×8週で完結→1単位

✓ 2020年度の履修登録・履修取消・成績交付・異議申立て

各学部・研究科で一部異なっていた下記の期間を統一し、第2・第4クォーターの履修取消期間が追加されます。ただし、卒業・修了学年の成績交付期間及び異議申立期限は、判定上別に定めます。

科目開設期間	履修登録期間	履修取消期間	成績交付期間	異議申立期限
第1クォーター 前期、年間	4月 8日(水)~ 4月 15日(水)	4月 22日(水)~ 4月 24日(金)	9月 14日(月)~ 9月 15日(火) ※卒業・修了学年除く	9月 18日(金) ※卒業・修了学年除く
第2クォーター		6月 25日(木)~ 6月 29日(月)		
第3クォーター 後期	10月 1日(木)~ 10月 8日(木)	10月 15日(木)~ 10月 19日(月)	3月 15日(月)~ 3月 16日(火) ※卒業・修了学年除く	3月 19日(金) ※卒業・修了学年除く
第4クォーター		12月 17日(木)~ 12月 21日(月)		

変更になる事項

✓ 「定期試験」制度の廃止、GPA制度に関する規程の整備

「和歌山大学における試験実施に関する規程」を「和歌山大学成績評価及び単位修得並びにGPA制度に関する規程」に改正し、従来の「定期試験」制度を廃止し、授業終了後に行う「単位認定試験」又はシラバスに記載のレポート等により成績評価を行います。

併せて、従来別に定めていた「和歌山大学におけるGPA制度に関する要項」を廃止し、GPA制度についても、成績評価・単位修得とあわせて同一規程で定めています。

なお、従来定期試験と定期試験以外で対応が別に定められていた不正行為の処分や単位の取り消しについて、単位認定試験及び単位認定試験に代わる成績評価(中間試験、レポート等)全てを対象とした規程を定めています。

✓ 授業形態・単位認定試験の例 (令和2年度学年暦、火曜の授業の場合)

定期試験制度の見直しにより、授業期間とシラバスに記載の成績評価方法によって、授業科目毎に単位認定試験等が実施されます。

クォーター講義科目(1単位)、試験あり	「○学A」第1クォーター火曜1限 → 90分×7回+45分×1回の授業、8回目後半45分で試験実施
クォーター講義科目(1単位)、試験なし	「○学B」第2クォーター火曜1限 → 90分×7回+45分×1回の授業、単位認定はレポート(8回目後半なし)
セメスター講義科目(2単位)、試験あり	「□入門」前期火曜2限 → 90分×15回の授業、16回目(セメスター補講期間)90分で試験実施
クォーター講義科目(2単位)、試験あり	「△概説」第1クォーター火曜3,4限 → クォーター週2コマ90分×15回の授業、16回目90分で試験実施
セメスター実験科目(2単位)、試験なし	「☆実験」前期火曜5限 → 90分×15回の授業(実験)、授業中の成果で評価(16回目セメスター補講期間なし)

	4月14日 (火)	4月21日 (火)	4月28日 (火)	5月7日 (木) (代替日)	5月12日 (火)	5月19日 (火)	5月26日 (火)	6月2日 (火)	6月18日 (火)	6月23日 (火)	6月30日 (火)	7月7日 (火)	7月14日 (火)	7月21日 (火)	7月28日 (火)	8月4日 (火)
1限	○学A (1)	○学A (2)	○学A (3)	○学A (4)	○学A (5)	○学A (6)	○学A (7)	○学A (8)45分 試験45分	○学B (1)	○学B (2)	○学B (3)	○学B (4)	○学B (5)	○学B (6)	○学B (7)	○学B (8)
2限	□入門 ①	□入門 ②	□入門 ③	□入門 ④	□入門 ⑤	□入門 ⑥	□入門 ⑦	□入門 ⑧	□入門 ⑨	□入門 ⑩	□入門 ⑪	□入門 ⑫	□入門 ⑬	□入門 ⑭	□入門 ⑮	□入門 (試験)
昼 休 み																
3限	△概説 (1)	△概説 (3)	△概説 (5)	△概説 (7)	△概説 (9)	△概説 (11)	△概説 (13)	△概説 (15)								
4限	△概説 (2)	△概説 (4)	△概説 (6)	△概説 (8)	△概説 (10)	△概説 (12)	△概説 (14)	△概説 (試験)								
5限	☆実験 ①	☆実験 ②	☆実験 ③	☆実験 ④	☆実験 ⑤	☆実験 ⑥	☆実験 ⑦	☆実験 ⑧	☆実験 ⑨	☆実験 ⑩	☆実験 ⑪	☆実験 ⑫	☆実験 ⑬	☆実験 ⑭	☆実験 ⑮	—

※気象警報発表・交通機関運休により授業休止とした場合、予備日に代替授業を行う等、別途案内します。

✓ 教育サポートシステム

従来の教務システム(LiveCampus)の運用期間終了を受け、新たな教育サポートシステムの運用を開始します。

システムの切り替えによる運用停止期間、操作方法等の変更が生じますが、新旧システムでの通知、ホームページの案内、学習支援システム(Moodle)掲載のマニュアル等を必ず確認してください。

その他の変更になる事項

✓ 成績評価結果(得点分布)と教員コメント機能の追加

従来、成績評価について教員に確認したい場合は、成績評価の照会・異議申立てに関する要項により、「成績評価の照会・異議申立書」の提出が必要で、受講者全体の成績評価結果(得点分布)や今後の修学上の取り組みについての情報発信が十分ではありませんでした。このため、教員が成績評価を行った際に、教育サポートシステム上で受講者に対する成績評価のコメントを発信できるよう、機能を追加しました。ただし、個人が特定される可能性がある科目(受講者数が少ない等)は行いません。

✓ 成績評価の照会・異議申立て制度

成績評価についての「照会」と「異議申立て」が混在する制度を見直し、主な照会事項の成績評価結果(得点分布)等は教育サポートシステムにより発信することとし、成績評価に疑義がある場合の異議申立てを明確に取り扱う制度に変更します。変更後も従来どおり、異議申立てについては、成績評価に正しく反映されていないと考える内容を具体的に書面で申立てることが可能です。

✓ カリキュラム・ツリー、カリキュラム・マップ、科目ナンバリング

カリキュラム(卒業要件)は、学部・研究科ごとに定めた「学位授与方針(ディプロマ・ポリシー)」と教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)に基づき構築されています。

みなさんが履修する際、授業科目の体系的な関係や履修順序など、学位取得に向けカリキュラム全体を把握できるよう、カリキュラム・ツリー、カリキュラム・マップ、科目ナンバリングを2020年度入学者から見直しました。なお、2019年度以前入学の学生は、入学時のカリキュラム・ツリー、カリキュラム・マップの対象となります。

✓ シラバス

シラバスには、当該授業科目の位置付けや他の授業科目との関連性、各回の授業内容と事前及び事後に必要な学習の時間の目安やその内容、「何を学び、身に付けることができるのか」の到達目標、「学修成果を具体的にどのよう基準で評価するか」の成績評価基準、単位修得に必要な授業時間外学習などを記載しています。

2020年度からは、授業理解を深める方法(アクティブ・ラーニングなどの取り組み)を追加し、従来別に周知しておりましたオフィスアワーも併せて掲載していますので、必ず確認してください。

各学部・研究科の導入状況

教育学部

教育学部専門(教育)科目は従来どおりセメスター制により実施します。

教育学研究科

教職開発専攻(教職大学院)においては、2016年度からクォーター制を導入しています。学校教育専攻(修士課程)は従来どおりセメスター制により実施します。

システム工学部

2020年度からクォーター制を導入しますが、科目内容や教育効果を考慮し、セメスター制や通年で開講する科目もあります。

システム工学研究科

従前から一部でクォーター制を導入していましたが、2020年度から本格的にクォーター制に移行します。ただし、科目内容や教育効果を考慮し、セメスター制で開講する科目もあります。

教養教育科目、連携展開科目(学部共通)

教養教育科目については、2020年度の教養教育改革実施に伴い、授業科目の再編・追加を行いました。

2019年度以前に入学した学生については、授業科目の編成に変更はありませんので、これまでどおり履修をしてください。新規開講科目の中には1クォーター(8回の授業)で完結する1単位科目がありますので注意をしてください。一部の授業科目では1年次生の履修が優先されますが、教室の収容人数内であれば履修することができますので、履修を希望する場合は抽選登録をしておいてください。

2020年度教養教育科目・連携展開科目用の履修手引をご覧ください。卒業要件や取得単位の扱いは学部によって異なりますので、所属学部の履修手引で確認してください。

経済学部

1単位の授業科目(基礎演習や発展演習、2020年度からの「プログラム概説」)はクォーター制で実施します。それ以外の授業科目はセメスター制で開講します。

また、経済学部は2016年度に改組を行いました。その改組の教育成果等を踏まえたうえで、教育内容等の改善を図る予定です。その結果に基づき、2021年度からクォーター制を利用した授業科目及び授業方法の変更を見込んでおります。

経済学研究科

2020年度は大きな変更はありません。2021年度に改組を考えております。

その改組では、クォーター制を利用した授業科目及び授業方法の大幅な変更を見込んでおります。

観光学部

観光学部開設科目は、原則として集中科目を除いて、2時限連続(1・2時限または3・4時限)のクォーター科目(2単位)として開講します。なお、セメスター科目として開講する科目は、「基礎演習」、「プロジェクト演習/Activity for Project」及び「Tourism and Language A&B」です。また、「専門演習Ⅰ/Global SeminarⅠ」、「専門演習Ⅱ/Global SeminarⅡ」及び「卒業論文/Dissertation」は従来どおり年間科目として開講します。

ギャップタームを3年次第2クォーターと想定しています。

観光学研究科

クォーター科目及びセメスター科目を開講します。なお、「専門研究」については、従来どおりセメスター科目又は年間科目として開講します。

クォーター制導入後も変わらないこと

✓ 単位認定時期

成績交付・単位認定は、従来どおり学期末となります。

✓ 休学

休学開始(希望日)前(できる限り2週間前まで)に休学願を提出し、学長の許可を得る必要があります。休学願の提出には、指導教員又は学部・研究科が定める教員との面談が必要です。また、従来どおり、休学期間がある学期は単位認定されませんので、注意が必要です。

✓ 卒業・修了

単位認定時期が従来どおり学期末のため、卒業・修了時期にも変更はありません。

✓ 授業料

学期毎に年額の2分の1に相当する額を、納付期間中(4月、10月)に納入いただきます。

✓ 単位認定に必要な学修時間

1単位の修得に必要な学修時間は、従来どおり授業時間外学習を含め45時間で変更ありません。

従来どおりシラバスに掲載の授業時間外学習を行ってください。

なお、1回目の授業はガイダンスで受講不要などの誤った情報があるようですが、上記のとおり必要な学修時間ですので、欠席することの無いよう注意してください。

✓ 履修登録の制限(CAP制)

従来どおり履修登録時(前期・後期)毎の各学部の定める単位数に変更はありません。

成績優秀者の制限緩和、集中講義等の取扱いについても、引き続き変更はありません。

✓ 授業科目名の記号

授業科目名の「Ⅰ」、「Ⅱ」等は相互に関連があること、「A」、「B」等はそれぞれが独立した内容であることを示しており、履修の順序や組み合わせに制限を設けている場合があります。例えば、「Ⅰ」の単位を取得しなければ、「Ⅱ」の授業科目を履修できません。履修手引やシラバスで確認してください。